計算を制する者は国試を制する!

~第105回薬剤師国家試験へ 向けた計算問題対策~

薬剤師国家試験(以下、国試)では、多くの科目で計算問題が出題 されており、**例年20題ほど**の出題でしたが、近年の国家試験では<mark>増</mark> 加傾向にあります(下記参照)。「考える力」を要する計算問題も多数 あり、国試の合否を分ける要因の一つになっています。

領域系統	計算問題	
	104回	103回
物理	4	5
化学	0	0
生物	0	0
衛生	1	3
薬理	0	0
薬剤	7 Œ	昇 4
病態·薬物治療	0	1
法規·制度·倫理	1	1
実務	7 Œ	昇 4

また、弊校で過去に実施した計算問題に対する苦手意識調査では、 苦手意識を改善できた理由として「内容(式の意味など)が分かった」 とする学生が大部分を占めており、「内容理解」の重要性がうかがえ ました。以下に、近年の国試での特徴的な出題と学修のアドバイスを 示します。

物理

第104回国試 問95(参考正答率75% 解答番号2)

メタン(CH₄)の燃焼反応の標準燃焼エンタルピー(kJ/mol)の値として正 しいのはどれか。1つ選べ。ただし、 CH_4 (気体)、 CO_2 (気体)、 H_2O (液体)の 標準生成エンタルピー($\Delta_{\epsilon}H^{\circ}$)は次のとおりである。

 $C(黒鉛) + 2H_2(気体) \longrightarrow CH_4(気体)$ $\Delta_f H^\circ = -74.8 \text{kJ/mol}$ $\Delta_{\rm f}H^{\circ} = -393.5$ kJ/mol $C(黒鉛) + O_2(気体) \longrightarrow CO_2(気体)$ $H_2(気体) + \frac{1}{2}O_2(気体) \longrightarrow H_2O(液体)$ $\Delta_{\rm f}H^{\circ} = -285.8$ kJ/mol 1 -998.02 - 890.3 3 - 754.1 4 - 604.5

5 - 468.3

■出題の特徴とアドバイス

本設問は、第96回問18類似問題であり、標準燃焼エンタルピーを求める問



茂木 雄輔 物理科目責任者



薬剤科目責任者



尾島 良太 法規·制度·倫理 科目責任者



坂口 努 実務科目責任者

題です。物理では、出題基準における「反応速度」「酸と塩基」「物理平衡」「容 **量分析**」の各小項目で計算問題が頻出です。本問題のように、既出問題と同様 の解法で解答できる問題は、必ず得点できるようにしましょう。まずは既出問 題を解くことから勉強を開始し、頻出範囲の「頻出の公式を覚える」ことや、「内 容の理解」を進めましょう。

薬剤

医学アカデミー

薬学ゼミナー

ル

第104回国試 問169 (参考正答率17% 解答番号3)

ある薬物60mgをヒトに静脈内投与した後の血中濃度時間曲線下面積 (AUC)が2.0mg・h/Lであった。この薬物の肝クリアランスが2/3に低下 したとき、経口投与後のAUCは、肝クリアランス低下前の経口投与後の AUCに対して何倍になるか。最も近い値を1つ選べ。ただし、この薬物の 体内動態は、線形1-コンパートメントモデルに従い、肝代謝のみで消失 し、消化管から100%吸収されるものとする。また、肝血流速度は80 L/hと する。

1 1.3 2 1.5 3 1.8 4 2.0 5 4.0

■出題の特徴とアドバイス

本設問は、疾患時のパラメーター変化を求める問題です。静脈内投与の条件 で頻出の内容でしたが、今回の条件は経口投与であり、バイオアベイラビリテ ィの変化も考える必要がありました。薬剤では、出題基準における「薬動学」「T

臨床に役立つ知識満載の『漢方実践書』

医療用漢方製剤・構成生薬解説

版

「漢方医学」 「漢方の基礎理論」 「調剤、服薬指導」 「生薬・方剤」

などを図表やカラー写真を 多数使い、わかりやすく解説!

著金 成俊 (横浜薬科大学教授) B5 判 /340 頁 定価 5,000 円 +税

第 4



薬事日報社 書籍のご注文は、オンラインショップ (https://yakuji-shop.jp/) または、書籍注文FAX03-3866-8408まで。